



福島県知事 内堀 雅雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから、県内においても様々な催しが再開されるなど、コロナ禍前の日常を徐々に取り戻しつつあることを実感できた一年でありました。
また、震災と原発事故から間もなく13年が経過する

明るい未来へ、
「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

中、避難指示区域が縮小したほか、福島国際研究教育機構（F-REI）が始動するなど、明るい光が一層の強まりを見せてまいりました。

さらに、震災後、55の国・地域で行われた県産農林水産物の輸入規制は7つの国・地域にまで減少し、県内への移住者数や新規就農者数が過去最多を更新するなど、これまでの挑戦が目に見える形となって現れております。

一方で、未曾有の複合災害からの復興・再生、急激に進む人口減少や度重なる自然災害への対応など、本県は困難な課題が山積しております。特に、ALPS処理水の問題は、今後数十年にわたる長い取り組みが必要となります。

県といたしましては、引き続き、これまでの挑戦を「シンカ（進化・深化・新化）」させながら、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還に向けた環境の整備などに取り組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止などに着実に取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましては、妊娠・出産・子育ての希望を叶える環境づくりとともに、若者等の県内定着や移住・定住の促進などに取り組んでまいります。

さらに、台風第13号に伴う大雨災害からの復旧につきましては、被災された方々の一日も早い生活再建や事業・生業の再生、公共施設の早期復旧に向けた取り組みを進めてまいります。

加えて、厳しい状況にある本県の健康指標については、オール福島の体制で健康づくりに取り組むなど、県民の皆様の健康増進を積極的に推進してまいります。

福島県が抱える課題は複雑であり、解決には長い時間が必要となります。だからこそ、総合計画に掲げた目標を「ひとつ、ひとつ、実現」し、県民の皆様一人一人が将来に夢や希望を持ち、豊かさや幸せを実感することができる福島の未来を創り上げるため、全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます、新年の御挨拶といたします。

年頭あいさつ

SDGs 実現へ
設備の力を発揮



一般社団法人
福島県空調衛生工事業協会
会長 大内 弘之

明けましておめでとうございます。
本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

顧客満足最優先に
地位向上・発展目指し尽力

今年、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県は、東日本大震災第2期復興・創生期間の4年目となり、今後も、

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

地位向上・発展目指し尽力

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

顧客満足最優先に

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。

本県の復興のため会員が程を担う設備工事業の仲間が、協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。
協会が協力を一丸となつて協力して参ります。



発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工事業協会
発行人 大内 弘之
〒960-8021
福島市霞町9-23
(福島管工事会館)
電話(024)526-2036

令和6年能登半島地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
一般社団法人
福島県空調衛生工事業協会

働き方改革の推進で
県建協へ協力を要請

県空衛協と県電設協

格の上昇等の影響は設備工事でも大きく、当初契約通りの請負金額、工期での施工が困難なケースが多く見られるが、契約内容の適切な見直しが行われず、工事の後工程を担う設備事業者にしわ寄せが生じており、現状では2024年問題への対応も困難だとして理解を求めた。
特に、建築と設備工事の同一工期となる県発注工事に対しては、設備工事の総合試運転調整期間が確保できる建築工事等の行程管理等を要望。調整に要する日数が特記仕様書で規定されていることが浸透しておらず、周知徹底への協力を申し入れた。
長谷川会長は上部団体を通じた設計労務単価引き上げの働き掛けなど、発注者に対する要望等に連携して取り組むとの考えを示した。また、民間工事での働き方改革の推進には建設産業全体で議論が進展するよう期待を込めた。

人・街・未来へ
株式会社 小泉東北
代表取締役 戸倉 厚
本社 〒983-0035
宮城県仙台市宮城野区日の出町3-3-15
TEL022(352)4651(代)
郡山営業所 TEL024(952)1211(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
福島営業所 TEL024(572)3699(代)
(株)小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-30-16
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社
富士機材株式会社
■郡山支店
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL(024)941-3621
■いわき支店
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL(0246)72-1571

TOTO
代理店
タカムラ
TAKAMURA
〒960-0180
福島市鎌田字御町13番地の5
TEL(024)553-1464(代)
営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・関東東・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社
DAI SAN
太三機互株式会社
本社 〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761(代)
●福島営業所
福島市八木字榎内23 TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA
SYSTEM
郡山 SC (024) 945-2105
会津若松 SC (0242) 23-1122
いわき SC (0246) 24-2266
福島 SC (024) 535-0201
白河 SC (0248) 27-2911
渡辺パイプ株式会社
https://www.sedia-system.co.jp

年頭所感



福島県土木部長 曳地 利光

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
建設産業に携わる皆様には、社会資本の整備や維持管理への対応はもとより、豪雨災害や地震などの災害発生時には応急対策などの災害支援に対応いただいているところであり、昼夜を問わない献身的な取組と御尽力に深く感謝申し上げます。
東日本大震災と原発事故から間もなく13年が経過する中、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示区域が縮小し、ふるさとへの帰還に向けた動きが加速しております。
一方で、未曾有の複合災害から

の復興・再生、さらには、急激に進む人口減少や度重なる自然災害への対応など、本県には複雑で困難な課題が山積しております。
県といたしましては、引き続き、これまでの挑戦を更に「シ

ン」を発揮するため、日常の点検に加え、必要に応じた補修等の維持管理を行う必要があります。国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」事業等を活用しながら、不具合が発生してからの事後

化建築ガイドライン」を作成するなど、今後も「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。
福島県が抱える課題は複雑であり、解決には長い時間が必要となります。だからこそ、総合計画に掲げた目標を「ひとつ、ひとつ、実現」し、県民の皆様一人一人が将来に夢や希望を持ち、豊かさや幸せを実感することができる福島の未来を創り上げるため、全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

複雑化する課題解決へ全力で挑戦

力（進化・深化・新化）」させ各事業を進めるとともに、大熊町と双葉町から要請のあった帰還者向け災害公営住宅等の整備については、住民帰還を促進するための代行業業として、早期の完了に向けて取り組んでまいります。
社会インフラの維持管理につきましては、本来の機能や役割を

修繕ではなく、予防保全によりライフサイクルコストの削減を図り、良質な社会インフラを次世代につないでまいります。
さらに、建築物の脱炭素化の取り組みとして、中大規模県有建築物の木造化・木質化を促進し、各部署を建築技術の側面から支援するため、「ふくしま木造化・木質

特別技術講習会

安全な配管工法勉強

脱炭素めぐる設備の動向も

当協会は昨年9月26日、福島市の県青少年会館で2023年度特別技術講習会を開いた。コロナで過去3年は資料配布やオンライン配信に替えており、今回4年ぶりに対面で開催した。



近藤至樹氏



谷雄志氏

ナ下で過去3年は資料配布やオンライン配信に替えており、今回4年ぶりに対面で開催した。特別技術講習会は、建築設備工事に関する業務遂行上の問題を研究し、技術水準と生産性の向上を図ることが目的。建築布やオンライン配信の増加傾向を踏まえ、空調設備の冷媒配管接続を安全に行うための工法や、全世界で共通の課題となっているカーボンニュートラルに対する空調設備メーカーの取り組みと動向をテーマに取り上げた。



4年ぶりの対面開催となった講習会(上)と工法の体験

2部では三菱電機静岡製作所営業部パッケージエアコン営業課の谷雄志氏が「店舗用・事務所用エアコンのカーボンニュートラルに関連した取り組みと今後の動向」をテーマに講義した。講習は2部構成で、1部ではタプ子仙台支店の近藤至樹氏を講師に「冷媒配管火無し工法(ワン

パリ協定)により20年削減できる」と講義した。2部では三菱電機静岡製作所営業部パッケージエアコン営業課の谷雄志氏が「店舗用・事務所用エアコンのカーボンニュートラルに関連した取り組みと今後の動向」をテーマに講義した。

SDGsの動向学ぶ 経営改善研修会 設備工事からのアプローチ理解



今年度経営改善研修会(坂本憲弘委員長)事業として毎年開いている。今回テーマは世界的課題となっている「SDGs」。空調衛生工事業はSDGsの17目標と設備工事の面で関わっており、当協会が「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」に加盟していることから取り上げた。会員企業の経営担当者35人が受講。坂本委員長が「空調衛生設備工事はSDGsの『安全な水とトイレを世界中に』や『気候変動に具体的な対策を』などで関わりが深く、今後の業務に生かせるよう理解を深めてほしい」とあいさつした。

度以降、温室効果ガス排出抑制への取り組みが世界的に加速。国内ではその一環として「フロン類の使用の合理化および管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」の罰則規定が強化されている。フロン類の漏えいを防止するには、目視だけでなく遠隔監視による点検が重要となるため、講習では最新の点検支援ツールについて提案を受けた。また、石炭燃料の高騰に伴う省エネ意識の高まりを受け、積極的に開発が進められているセンシング技術を搭載した空調の需要が高まると予想されている。

県総合設備協

地元密着企業「適正評価を」

入札制度監視委で意見

県入札制度等監視委員会による入札制度に対する建設関係団体等への意見聴取は昨年11月27日、福島市の杉妻会館で行われ、県総合設備協会から副会長の内弘之当協会会長の出席。維持管理を担う地元企業に対する受注機会確保などを訴えた。

約制度全般②総合評価方式③地域の守り手育成型方式④地域の質問に各団体の代表が回答した。

現行制度では、設計金額1000万円以上の設備工事の場合、全県が参加対象となり、施設の維持・修繕を担ってきた地元事業者の受注機会が失われることで、緊急時対応に懸念が出ている現状

を説明。今後、維持管理やメンテナンスのウエイトがさらに増す中で、災害時の対応を含め、その害時の対応を含め、その施設を熟知した地域の事業者が受注機会を得られる仕組みの構築が必要だとした。

価格競争で同額くじ引きが発生している現状も示し、総合評価方式の地域密着型と地域の守り手

育成型方式を土木、農林水産部以外の部局にも拡大するよう要望した。総合評価方式に対しては、受注実績等をベースにした基礎点による受注

意見聴取は①入札・契



地域の守り手育成型方式については、辞退者が委員の意見聴取に回答する大内会長(奥側中央)

多くの現状に対し、対象となる3000万円未満の工事の多くが改修や維持修繕工事であり、少額工事の割合に施工前の調査や調整に時間、費用がかかる状況を説明。入札辞退回避のため発注ロットを5000万円程度まで大型化して、利益率を高めるとともに、必要な現場経費をきめ細かく計上するなどを、応札しやすい発注の仕方を提案した。併せて配置技術者確保の観点から、発注時期の一層の平準化も必要だとした。

会員の秋田泰孝セコムエンジニアリング管理部次長が自社の取り組みを

例に、SDGsに関係する取り組み内容とその成果を紹介した。同社は新卒採用時の企業姿勢の発信や人材の流出防止につなげようとして取り組みを始めた。取り組みを通じた健康経営優良法人の認定、県次世代育成支援企業認証を取得。社員が会社のためにSDGsに関係する取り組みを考え、自主的に行動するようになったことが何よりの成果とした。

県優良工事

山田設備、エヌエスに

さらなる技術・技能向上を

県の2023年度優良建設工事に、当協会会員企業施工の2工事が選ばれた。昨年9月8日に福島市の杉妻会館で行われた表彰式で、内堀知事が受賞者それぞれに表彰状と記念の盾が授与された。



内堀知事から賞状を受ける山田設備工業・山田一郎社長（上）とエヌエス工業・安藤英一常務

県2023年度優良建設工事に、当協会会員企業施工の2工事が選ばれた。昨年9月8日に福島市の杉妻会館で行われた表彰式で、内堀知事が受賞者それぞれに表彰状と記念の盾が授与された。ともに土木部・機械設

県優良建設工事受賞工事概要

- ◆県立こころの医療センター（仮称）新築（機械）工事（県立ふくしま医療センターこころの社）
【寸評】 既存精神科病院の老朽化や今日の精神科医療ニーズに対応しながら、児童思春期や区療観察法の入院機能を持つ県内唯一の公立精神科病院を整備するための機械設備工事。4階機械室では複数台のポンプをコンパクトに設置するため、鉛直方向のスペースを活用する架台を設置するなどの工夫が見られ全体の仕上がりをよくしている。メンテナンス時の酸欠防止対策として地下ピット内の機械換気、防振対策として埋設排水管に防振継ぎ手を提案・施工したこと、送風機のベルトに高効率型の平ベルトを採用して省エネルギー化を図るなど、創意工夫が見られ高く評価できるものである。
さらに、受水槽からの給水管と警報用の自動制御配線について、建築本体工事着手前に埋設作業が完了するよう配管・配線ルート提案し、建築本体工事も含めた全体工程への影響を回避するなど、工程管理におけるマネジメントも他の模範となるものであり総合的に優秀性が認められる。
【概要】▽施工地=矢吹町滝八幡地内▽請負額=14億8202万5600円▽概要=機械設備工一式

50件から書面・現地審査を経て、21部門計36件を選定した。式には内堀知事と沖野浩之農林水産部長、曳地利光土木部長ら県幹部と、建設関係団体から来る技術と技能向上に努め

事業展望 福島県土木建築総室

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。皆様には日頃、本県の建築行政の推進について、格段の御理解と御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

省・再エネ、ZEB化推進

新規に設計BIM活用へ

東日本大震災から13年が経過し、県内各地で様々な復興関連拠点施設が整備されるなど、協会の御尽力に深く感謝を申し上げます。また、令和4年3月の福島県沖地震や昨年9月の復旧をはじめ、物価高騰や働き方改革への対応など、協会をあげて様々な課題に取り組まれることにより、心から敬意を表します。本年は、県の新たな総

佐藤さん県建産連会長顕彰

優秀施工者

第一線での活躍をたたえ



佐藤昭治さん

顕彰式は昨年11月29日、福島市のエルティで行われ、知事顕彰14人、県建産連会長顕彰14人の各受賞者に感謝状等が授与された。式では内堀知事が「施工者の模範として、福島市の復興と地方創生に力添えを願う」と述べ、受賞者のさらなる活躍に期待を示した。

建設センターで開かれ、2022年度安全競争表彰として労災防止に功績のあった事業場、個人等が表彰された。安全競争表彰の管工部門では、当協会の三共設備が優勝、準優勝をクレハ設備、第1位を（株）アークス会津、第2位を（株）大倉工業所が受賞した。大会には110人が出席し、労災減少と死亡災根絶に向け、関係者一丸で安全・安心な職場づくりに努めることを誓った。

関彰エンジニア・藤井支店長が受賞



藤井支店長

関彰エンジニア・藤井支店長が受賞。卓越した技能者を表彰し社会に技能尊重の気風を浸透させることで、技能者の地位と技能水準の向上を図るため、1976年度から行っており、今年度6年度から行っており、今回で48回目。表彰式は昨年11月22日に貢献している。

市優良建設工事表彰

- 福島市
当協会会員企業の㈱光和設備工業所が施工した飯野支所複合化整備（機械設備）2工区が、福島市の2023年度優良建設工事表彰を受賞した。昨年8月21日、市内のキョウワグループ・テルサホールで表彰式が行われた。
同市の表彰制度は1981年度に創設し、今回が43回目。これまでに延べ146者が受賞している。今回は2022年度に竣工した市長部局と水道局発注の当初請負額500万円以上の工事265件から選ばれた。
式には木幡浩市長や来賓として当協会の大内弘之会長ら約20人が出席。木幡市長が「今後も優れた技術に磨きをかけ、業界のリーダーとしてほしい」とあいさつし、各受賞企業の代表者に賞状を手渡した。
■いわき市
いわき市の今年度優良建設工事表彰が昨年7月20日、市役所で行われ、設備部門・高久保育園舎改築機械設備工事を施工した当協会会員の北関東空調工業㈱に内田広之市長から賞状と記念の盾が贈られた。
受賞工事は維持管理に配慮した工夫が随所に施されており、現場周辺地域への貢献が高く評価された。
式では内田市長が「高い技術力、優れた施工体制は他の模範」と受賞各社の功績をたたえた。
同市は建設事業者の意欲を高め、適正な建設工事、技術力の向上を目的に表彰を行っており、今回は2022年度に竣工した請負金額500万円以上の建築・設備工事計357件から選定した。
■二本松市
二本松市の今年度優良建設工事表彰（水道施設部門）を、当協会の㈱野地工業所施工の市道南トロミ・昭和町線排水管敷設工事が受賞した。
昨年8月25日に市役所正庁で表彰式が行われた。三保恵一市長が「各社、新型コロナウイルス感染症などの困難を乗り越え、素晴らしい工事をを行った」と受賞各社をたたえ、表彰状を手渡した。
表彰は市が適正な施工と技術向上を図るために毎年行っているもので、2022年度に完成した工事93件のうち、請負金額1000万円以上の工事49件から8件を選定。5部門6社に表彰状を授与した。



空衛協のうごき

私は、地元の工業高... 活から一変、社会人として...

成長と変化

安斎 涼

これから、社会に出て... 成長と変化... 安斎 涼

支部のうごき

【東北支部】昨年10月... 【奥中・奥南支部】昨...

空衛協のうごき

- 7月 歴史的建造物... 24日 県建設産業団体... 26日 県総合設備協...

編集後記

明けましておめでとう... 今年も「空衛ふくしま」をよろしく...

ゴルフコンペで親睦深める

20人プレー満喫... 昨年10月4日、二本松市...

高田産商株式会社... 代表取締役社長 沼田重一... 白河営業本部... 本社工場... いわき営業所... 郡山営業所

福島県ダクト工業協同組合... 理事長 遠藤 和伸... 〒960-2262 福島市在庭坂字柄清水32-1... 組合員 (有) 移川 鋼板 工業 所 (株) H G I 業 業 (株) 協 栄 工 業 業 (株) 共 立 空 調 工 業 (株) 共 和 工 業 (株) 協 和 サ ー モ テ ッ ク (株) 佐 川 川 ダ ク ト 鋳 金 工 業 所 (有) 伸 和 (有) タ ン ノ コ ー ポ レ ー シ ョ ン (株) 渡 辺 ダ ク ト 工 業

テクアカ会津入学生募集... 喜多方市にある県立テクノアカデミー... 令和6年度生の入学試験日程は、一般入学試験(2次)が令和6年2月2日...

準優勝!! 佐々木啓介(三ツツ) 73・6▽4位!! 遠藤真隆(いわきエアーコン) IN 73・6▽4位!! 松原兼一(三共設備) OUT 46・2▽5位!! 倉島設備 OUT 46・4・72・6▽3位!! 千葉隆(倉島設備) OUT 46・4・72・6▽3位!!